

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

コード番号 8462 URL <http://www.fvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今庄 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部管掌

(氏名) 鈴木 智久

TEL 075-257-2511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	121	△43.4	△451	—	△465	—	△55	—
23年3月期第2四半期	215	71.5	△1,171	—	△1,187	—	△149	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △476百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,220百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1,183.78	—
23年3月期第2四半期	△3,205.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,623	6,393	2.1
23年3月期	8,143	6,719	1.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 161百万円 23年3月期 89百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当については、未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 関西を元気にする投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	61,259 株	23年3月期	46,869 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	12 株	23年3月期	12 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	47,171 株	23年3月期2Q	46,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、以下のとおりアナリスト向け説明会を開催する予定です。
・平成23年11月22日(火)……アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 営業投資関連損益の状況	11
(2) 投資の状況	11
(3) 投資先企業の上場状況	12
(4) 投資事業組合の状況	12
(5) 四半期財務諸表 (個別)	13
(6) その他の情報 (個別)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の余波が色濃く残る中にありながらも、復旧活動が進み一部では消費、設備投資ともに持ち直しの動きを見せています。一方、電力の供給制約や欧米各国の財政危機等が、経済復興に向けた懸念となっています。

株式市場におきましては、4月から6月にかけて概ね9千円台半ばで値動きの少ない展開が続いたものの、7月には1万円前後で推移、一方8月以降は大きく値を下げ、9月末には年初来安値を更新するに至る等、乱高下する展開となりました。新規上場市場におきましては、当四半期連結累計期間における新規上場社数が12社と、前年同四半期連結累計期間の9社から増加し、さらには7月以降新規上場した複数の企業で上場後の初値が公募価格の倍以上の水準となる等、回復の兆しが見え始めております。しかしながら新規上場社数が直近ピークであった平成18年4月から9月にかけての新規上場社数83社から大きく減少している点は変わりなく、引き続き新規上場を目指す企業群にとりまして厳しい環境が続いております。

このような環境の中、当社は提携事業等の結実を目指す一方で、経費水準の抑制を続けてまいりました。7月に京都市内中心部に不動産賃貸業者と連携したインキュベーション型シェアオフィスを開設した他、事業会社や海外連携先との協議を進めております。また、経費水準につきましては、当社が管理・運営する投資事業組合で発生している損失57百万円を控除した当社単体で発生している営業利益が21百万円となり、前連結会計年度に続き、投資事業組合からの管理報酬を中心とした安定的な収益によって、固定的な経費を賄うだけの体制を維持しております。

当四半期連結累計期間における経営成績を見てまいりますと、売上高は121百万円(前年同四半期215百万円)となりました。一方で投資損失引当金の新規繰入額が減少したこと等から、経常損失は465百万円(前年同四半期1,187百万円)となり、少数株主損失控除後の当四半期純損失は55百万円(前年同四半期149百万円)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間取引含む)は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
ベンチャーキャピタル事業		
売上高	199,782	109,992
売上原価	1,281,767	478,558
販売費及び一般管理費	89,369	85,389
営業損失(△)	△1,171,355	△453,956
コンサルティング事業		
売上高	20,255	14,117
売上原価	14,002	8,455
販売費及び一般管理費	6,221	3,410
営業利益	31	2,250

[ベンチャーキャピタル事業]

当社が管理・運営する投資事業組合のうち、近く満期を迎える投資事業組合が保有する営業投資有価証券の売却を進めましたが、営業投資有価証券売上高は96百万円（前年同四半期179百万円）となりました。

また、投資助言業務による報酬が減額したこと等により、育成支援・投資助言業務売上高は7百万円（前年同四半期10百万円）となりました。

これらの結果、当事業の売上高は109百万円（前年同四半期199百万円）、営業損失は453百万円（前年同四半期1,171百万円）となりました。

(ベンチャーキャピタル事業における売上高の内訳)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
営業投資有価証券売上高	179,859	90.0	96,134	87.4
育成支援・投資助言業務	10,334	5.2	7,752	7.0
その他	9,587	4.8	6,105	5.6
合計	199,782	100.0	109,992	100.0

[コンサルティング事業]

ベンチャーキャピタル業務以外の収益軸を強化すべく設立いたしましたFVCアドバイザーズ株式会社（以下、「同社」という）において経営コンサルティング、企業再生に係るコンサルティング業務等を推進した結果、当事業の売上高は14百万円（前年同四半期20百万円）、営業利益は2百万円（前年同四半期0百万円）となりました。

なお、同社は、当社が保有する同社株式の一部を売却したことにより、連結子会社に該当しないこととなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。そのため、コンサルティング事業に関する連結経営成績に関する定性的情報は、平成23年4月1日から平成23年6月30日の3か月間の情報であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

総資産額については、当第2四半期連結会計期間末は、7,623百万円（前連結会計年度末8,143百万円）となりました。その内訳は流動資産7,573百万円（前連結会計年度末8,091百万円）、固定資産49百万円（前連結会計年度末51百万円）です。

負債額については、当第2四半期連結会計期間末は、1,229百万円（前連結会計年度末1,423百万円）となりました。

また、純資産額については、平成23年9月27日付で第三者割当による新株式の発行を行い、128百万円の払い込みを受けて増加いたしました。四半期純損失55百万円の計上及び少数株主持分が400百万円減少したこと等に伴い、当第2四半期連結会計期間末は、6,393百万円（前連結会計年度末6,719百万円）となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の1.1%から2.1%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「キャッシュ」という）は、前連結会計年度より148百万円減少し、2,626百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは222百万円のキャッシュアウトフロー（前第2四半期連結累計期間190百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。主な内訳は次のとおりであります。（注：△はキャッシュアウトフロー）

・投資実行による支出	△141百万円
・売上等による収入	124百万円
・営業投資有価証券（社債）の償還収入	20百万円
・人件費及び経費の支出	△221百万円
・その他の収支	△4百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは75百万円のキャッシュインフロー（前第2四半期連結累計期間111百万円のキャッシュインフロー）となりました。これは主に、投資事業組合における定期預金の払戻し600百万円及び預入れ500百万円、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の売却による支出16百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは1百万円のキャッシュアウトフロー（前第2四半期連結累計期間148百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。これは主に、平成23年9月27日付で行った第三者割当による新株式の発行128百万円、少数株主からの払込みによる収入301百万円、借入金の返済41百万円、少数株主に対する分配金の支払377百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、業績予想は行いません。詳細は、サマリー情報「3. 平成24年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成23年6月30日に当社の特定子会社である関西を元気にする投資事業有限責任組合が清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、FVCアドバイザーズ株式会社(以下、「同社」という)は、当社が保有する同社株式の一部を売却したことにより、連結子会社に該当しないこととなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は前連結会計年度まで通算して5期連続の当期純損失を計上し、当四半期連結累計期間においても四半期純損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続する前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。しかしながら、当社が計上いたしました損失の主な要因は、当社が管理・運営する投資事業組合において発生している営業投資有価証券売却損失及び投資損失引当金繰入等であり、これらの損失及び費用は、投資事業組合において発生しているため、資金流出を伴わないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと考えております。ただし、投資事業組合において発生しているこれらの損失及び費用は、自己資本の毀損を通じて当社の信用力や上場維持、今後の事業展開等に悪影響を及ぼす可能性があります。

そこで当社では、「(2)連結財政状態に関する定性的情報」に記載のとおり、9月に第三者割当により新株式を発行し、自己資本を増強いたしました。この調達資金は、財務リスク軽減を目的として一部借入金の返済に充当する金額を除き、当社の本業であるベンチャー投資事業を補強し、かつ市場環境の変化に過度に左右されない収益構造の実現に寄与する新規事業への投資に充当する予定であります。これにより収益力を強化することと合わせて、引き続き経費水準を抑制することで、黒字化の実現を図ります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,375,393	3,126,999
営業投資有価証券	11,670,987	10,908,448
投資損失引当金	△6,975,417	△6,477,354
その他	27,913	22,372
貸倒引当金	△7,464	△6,916
流動資産合計	8,091,412	7,573,548
固定資産		
有形固定資産	11,249	11,526
無形固定資産	9,424	5,354
投資その他の資産	31,080	32,940
固定資産合計	51,754	49,822
資産合計	8,143,166	7,623,370
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	75,625	75,625
預り金	207,951	106,216
繰延税金負債	17,120	14,326
未払法人税等	13,742	8,519
賞与引当金	3,997	4,221
その他	25,651	11,914
流動負債合計	344,087	220,824
固定負債		
長期借入金	1,024,750	983,500
新株予約権付社債	25,000	—
リース債務	1,162	737
退職給付引当金	28,344	24,543
固定負債合計	1,079,256	1,008,781
負債合計	1,423,343	1,229,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,984,501	2,048,609
資本剰余金	698,952	763,059
利益剰余金	△2,594,614	△2,650,455
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	86,666	159,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,819	2,243
その他の包括利益累計額合計	2,819	2,243
新株予約権	14,501	16,729
少数株主持分	6,615,835	6,215,750
純資産合計	6,719,822	6,393,764
負債純資産合計	8,143,166	7,623,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	179,859	96,134
コンサルティング収入	26,229	19,744
その他の売上高	9,587	6,105
売上高合計	215,677	121,984
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	757,621	876,917
投資損失引当金繰入額又は戻入額(△)	390,593	△498,063
その他の原価	143,195	105,855
売上原価合計	1,291,409	484,709
売上総損失(△)	△1,075,732	△362,724
販売費及び一般管理費	95,590	88,800
営業損失(△)	△1,171,323	△451,525
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,405	4,104
助成金収入	684	—
その他	1,863	3,210
営業外収益合計	4,953	7,315
営業外費用		
支払利息	20,638	19,106
その他	713	1,696
営業外費用合計	21,352	20,803
経常損失(△)	△1,187,721	△465,013
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
事務所移転費用	996	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,063	—
特別損失合計	3,060	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,190,781	△465,012
法人税、住民税及び事業税	7,229	7,069
法人税等合計	7,229	7,069
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,198,011	△472,081
少数株主損失(△)	△1,048,173	△416,240
四半期純損失(△)	△149,837	△55,840

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,198,011	△472,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,450	△4,592
その他の包括利益合計	△22,450	△4,592
四半期包括利益	△1,220,461	△476,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△151,110	△56,416
少数株主に係る四半期包括利益	△1,069,350	△420,257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,190,781	△465,012
減価償却費	8,102	5,416
株式報酬費用	4,559	3,180
投資損失引当金の増減額(△は減少)	390,593	△498,063
賞与引当金の増減額(△は減少)	△755	224
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,574	△3,800
受取利息及び受取配当金	△6,874	△7,503
支払利息及び資金原価	20,778	19,106
有形固定資産除却損	597	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	680,344	762,539
未収入金の増減額(△は増加)	△18,095	6,828
未払金の増減額(△は減少)	△10,607	△2,595
未払費用の増減額(△は減少)	△608	△125
預り金の増減額(△は減少)	△7,286	△101,735
その他	△24,702	82,297
小計	△160,309	△199,241
利息及び配当金の受取額	7,648	6,266
利息の支払額	△20,824	△18,892
法人税等の支払額	△16,605	△10,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,089	△222,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	800,000	600,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	—	△1,625
敷金及び保証金の差入による支出	△436	—
敷金及び保証金の回収による収入	12,064	88
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△16,345
その他	198	△6,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	111,826	75,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△82,450	△41,250
株式の発行による収入	—	128,214
社債の償還による支出	△9,000	△5,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	14,004	—
少数株主からの払込みによる収入	—	301,150
少数株主に対する分配金による支出	△63,622	△377,002
その他	△7,175	△7,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,244	△1,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226,507	△148,394
現金及び現金同等物の期首残高	2,890,896	2,775,393
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,664,389	2,626,999

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ベンチャー キャピタル事業	コンサル テイング事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	199,782	15,895	215,677	215,677	—	215,677
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,360	4,360	4,360	△4,360	—
計	199,782	20,255	220,037	220,037	△4,360	215,677
セグメント利益又は損失(△)	△1,171,355	31	△1,171,323	△1,171,323	—	△1,171,323

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業損失(△)と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ベンチャー キャピタル事業	コンサル テイング事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	109,367	12,617	121,984	121,984	—	121,984
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	625	1,500	2,125	2,125	△2,125	—
計	109,992	14,117	124,109	124,109	△2,125	121,984
セグメント利益又は損失(△)	△453,956	2,250	△451,705	△451,705	180	△451,525

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業損失(△)と一致しております。

2. FVCアドバイザーズ株式会社(以下、「同社」という)は、第1四半期連結会計期間の末日に、当社が保有する同社株式の一部を譲渡したものとみなし、連結の範囲から除外しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月8日付の取締役会決議に基づき、平成23年9月27日付で、株式会社カネカ、古我知史氏及び中村亨氏から第三者割当増資の払い込みを受け、新株式を発行いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ64百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,048百万円、資本剰余金が763百万円となりました。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 営業投資関連損益の状況

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減
営業投資有価証券売上高	179,859	96,134	△83,724
営業投資有価証券売却額 (上場)	14,782	20,812	6,029
営業投資有価証券売却額 (未上場)	160,608	71,923	△88,684
営業投資有価証券利息・配当金	4,469	3,398	△1,070
営業投資有価証券売上原価	113,323	77,141	△36,181
営業投資有価証券売却原価 (上場)	6,521	7,384	863
営業投資有価証券売却原価 (未上場) (係る投資損失引当金戻入額(△))	651,100 (△544,298)	668,200 (△598,443)	17,100 (△54,144)
減損等 (係る投資損失引当金戻入額(△))	100,000 (△50,000)	201,333 (△193,429)	101,333 (△143,429)
投資損失引当金繰入額	984,891	293,809	△691,082
営業投資関連損失(△)	△968,355	△282,719	685,635

(注) 当第2四半期連結累計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、59.4% (前連結会計年度末59.8%) となりました。

(2) 投資の状況

当第2四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、6社、141百万円 (前第2四半期連結累計期間4社、131百万円) となり、前年同期に比べ、2社、9百万円増加しております。また、当第2四半期連結会計期間末における投資残高は151社、10,908百万円 (前連結会計年度末159社、11,670百万円) となりました。

①証券種別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	131,800	4	26,780	3
社債等	—	—	114,980	4
合計	131,800	4	141,760	6

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

②証券種別投資残高

証券種類	投資残高			
	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	11,329,063	154	10,491,544	146
社債等	341,924	18	416,904	19
合計	11,670,987	159	10,908,448	151

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

(3) 投資先企業の上場状況

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、上場した投資先企業はありません。

(4) 投資事業組合の状況

当第2四半期連結会計期間末において当社が管理・運営する投資事業組合は25組合、29,052百万円(前連結会計年度末26組合、29,253百万円)となりました。

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)
投資事業組合出資金総額(百万円)	29,253	29,052
投資事業組合数(組合)	26	25

(注) 1. 子ファンドは含めておりません。

2. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。

①新規に設立した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において新規に設立した投資事業組合はありません。

②出資金総額が増加した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合はありません。

③出資金総額が減少した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は以下の1組合であります。

(単位:百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	内容
フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合	1	ゼネラルファンド
合計(1組合)	1	

④清算終了した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において清算終了した投資事業組合は以下の1組合であります。

(単位:百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	内容
関西を元気にする投資事業有限責任組合	200	特化型ファンド
合計(1組合)	200	

(5) 四半期財務諸表（個別）

前年同四半期においては、従来の個別財務諸表に、子会社であるFVCアドバイザーズ株式会社（以下、「同社」という）を連結した（以下「準連結」という）財務諸表を開示しておりましたが、同社は、当社が保有する同社株式の一部を売却したことにより、連結子会社に該当しないこととなったため、当第2四半期においては、従来の個別財務諸表を開示いたします。また、前事業年度及び前第2四半期累計期間の財務諸表におきましても、個別財務諸表を開示することといたします。なお、個別財務諸表は法定開示における監査の対象ではありません。

① 四半期貸借対照表

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	498,332	545,371
営業投資有価証券	1,821,783	1,686,801
投資損失引当金	△1,020,732	△917,614
その他	34,657	31,963
貸倒引当金	△6,950	△6,949
流動資産合計	1,327,091	1,339,573
固定資産		
有形固定資産	11,249	11,526
無形固定資産	9,424	5,354
投資その他の資産	34,080	32,940
固定資産合計	54,754	49,822
資産合計	1,381,845	1,389,395
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	75,625	75,625
リース債務	10,697	3,718
未払法人税等	13,707	8,519
前受金	104,202	100,330
預り金	4,973	3,337
賞与引当金	3,997	4,221
その他	10,784	9,248
流動負債合計	223,987	205,002
固定負債		
長期借入金	1,024,750	983,500
リース債務	1,162	737
退職給付引当金	28,344	24,543
固定負債合計	1,054,256	1,008,781
負債合計	1,278,243	1,213,783

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,984,501	2,048,609
資本剰余金		
資本準備金	698,952	763,059
資本剰余金合計	698,952	763,059
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,594,956	△2,652,857
利益剰余金合計	△2,594,956	△2,652,857
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	86,324	156,637
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,774	2,243
評価・換算差額等合計	2,774	2,243
新株予約権	14,501	16,729
純資産合計	103,601	175,611
負債純資産合計	1,381,845	1,389,395

② 四半期損益計算書

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
投資事業組合管理収入	239,344	192,562
営業投資有価証券売上高	33,545	8,535
コンサルティング収入	10,334	7,752
その他の売上高	12,334	5,731
売上高合計	295,559	214,582
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	142,949	145,852
投資損失引当金戻入額(△)	△1,087	△103,137
その他の売上原価	172,477	123,605
売上原価合計	314,340	166,319
売上総利益又は総損失(△)	△18,781	48,262
販売費及び一般管理費	93,440	83,499
営業損失(△)	△112,221	△35,237
営業外収益	3,763	3,497
営業外費用	21,303	20,759
経常損失(△)	△129,761	△52,498
特別利益	—	2,774
特別損失	12,498	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,260	△52,495
法人税、住民税及び事業税	5,488	5,405
四半期純損失(△)	△147,748	△57,901

(6) その他の情報 (個別)

<投資事業組合への出資金に係る会計処理>

当社が管理・運営する投資事業組合への出資金に係る会計処理は、当社と決算日が異なる組合については、決算日における組合の(中間)決算又は仮決算による財務諸表に基づいて、組合の資産、負債、収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて計上しております。

当社の四半期貸借対照表及び四半期損益計算書で計上されております主な科目の内訳は次のとおりであります。

① 四半期貸借対照表

四半期貸借対照表における主な資産を当社単体で保有している資産と、投資事業組合で保有している資産に分解いたしますと次のとおりであります。

	貸借対照表上の科目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
		金額(千円)	金額(千円)
当社単体で 保有している資産	現金及び預金	212,183	345,230
	営業投資有価証券	145,300	145,300
	投資損失引当金	△7,119	△7,400
投資事業組合で 保有している資産	現金及び預金	286,149	200,140
	営業投資有価証券	1,676,483	1,541,501
	投資損失引当金	△1,013,612	△910,214

② 四半期損益計算書

四半期損益計算書における営業損益を当社単体で発生している損益と投資事業組合で発生している損益に分解いたしますと次のとおりであります。

	損益計算書上の科目	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
		金額(千円)	金額(千円)
当社単体で 発生している損益	投資事業組合管理収入	239,344	192,562
	営業投資有価証券売上高	259	—
	コンサルティング収入	10,334	7,752
	その他の売上高	9,587	5,108
	売上高合計	259,526	205,423
	資金原価	140	—
	投資損失引当金繰入額	1,198	280
	その他の売上原価	129,100	99,704
	売上原価合計	130,439	99,985
	売上総利益	129,086	105,438
	販売費及び一般管理費	93,440	83,499
営業利益	35,645	21,938	
投資事業組合で 発生している損益	営業投資有価証券売上高	33,286	8,535
	その他の売上高	2,747	622
	売上高合計	36,033	9,158
	営業投資有価証券売上原価	142,949	145,852
	投資損失引当金戻入額(△)	△2,285	△103,418
	その他の売上原価	43,237	23,900
	売上原価合計	183,900	66,334
	売上総損失(△)	△147,867	△57,175
	営業損失(△)	△147,867	△57,175